

1 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 個々の課題に対応する自立活動・各授業の改善を図ること 2 ICT機器の効果的な活用と教職員の指導力向上を進めること 3 安全で安心な学校づくりと健康の保持・増進を図ること 4 保護者・地域及び関係諸機関との連携を図ること 5 互いにかしあい協働できる職員体制づくりを進めること
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、校外学習等の体験的な学習を積極的に実施することができた。 ・ICT機器を活用した授業が定着し、訪問生の母学級交流や学校間交流での活用もできた。職員一人一人のスキルアップにつながっている。 ・進路に関して保護者から質問があったときは、すぐに対応できるようにした。必要に応じて福祉事業所等関係機関と連携を図った。 ・個人情報保護の面から、資料作成時に重要度ABCの記号付けをすることで、情報資産の取扱いに対する意識が高まった。 ・児童生徒の校内支援について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を利用し、生徒の心の状態の理解や支援、市町の関係機関との連携につなげることができた。 ・自立活動の授業の充実を図るために、教師が知っておくべき知識についてグループウェアを活用して発信することができた。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理面で家庭との連携を強化するとともに、緊急時の対応について職員全体で確認するなどして引き継ぎ、安全対策を進める。 ・ICT教材の活用結果等、学校での具体的な取組を保護者に広く知らせていく。 ・進路先決定までの流れについて、小学部の早い段階から保護者への理解が深められるように職員の研修を進めていく。学校だけでなく、地域の関係機関ともより連携を図りながら、本人にとってよりよい進路選択ができるようにする。
<p>その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で直接的な関わりが制限されたことで、ICT機器を活用しているいろいろな人と出会う機会が増えた。対面(アナログ)とデジタルの両面のよさを生かしていけるとよい。 ・地域共生社会に向けて、地域へ積極的に働きかける役割を担ってほしい。 ・進路指導について、早い段階からの啓発が必要である。小中高のつながり、引継ぎを大切に、さらに学校教育終了後も引き継がれるとよい。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員5名(PTA会長含む) ・評価の時期・・・2月上旬

2 経営管理上の問題点等

- ア 学校生活全体での自立活動の指導の充実と新学習指導要領を基にした授業改善への具体的取組。
- イ 一人一人のニーズに合った進路指導の更なる充実及び保護者の期待に応えられる具現化への対応。
- ウ 専門性(教科、自立活動、教育相談等)向上のための研修の充実と外部関係機関との連携強化。
- エ 各種行事及び校務の業務内容の縮減等による勤務時間の適正化及び教員の多忙感の軽減。
- オ 知肢併設に向けた施設・設備の整備。